



平成 21 年 3 月 3 日

各 位

会社名 株式会社 ナ ナ オ
 代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆
 (コード番号 6737 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 総務・経理担当
 経理部長 出南 一彦
 電話番号 076(275)4121

通期業績予想の修正、特別損失の計上 並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月 30 日に公表した平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の連結業績予想、並びに、平成 20 年 5 月 9 日に公表した個別業績予想及び期末配当予想について、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。また、特別損失の計上についても、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期 連結業績予想値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 10 月 30 日発表)	百万円 84,000	百万円 7,200	百万円 7,200	百万円 3,800
今回修正予想(B)	73,000	5,000	4,700	600
増減額(B-A)	11,000	2,200	2,500	3,200
増減率(%)	13.1	30.6	34.7	84.2
前期実績(平成 20 年 3 月期)	89,307	8,475	8,497	4,433

(2) 平成 21 年 3 月期 個別業績予想値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 5 月 9 日発表)	百万円 79,000	百万円 8,200	百万円 8,200	百万円 4,900
今回修正予想(B)	63,500	6,300	6,300	750
増減額(B-A)	15,500	1,900	1,900	5,650
増減率(%)	19.6	23.2	23.2	-
前期実績(平成 20 年 3 月期)	82,546	9,529	9,727	5,988

(3) 修正の理由

当社グループが属するモニター関連市場は、米国発の金融危機に端を発する世界的な景気後退を受け、その結果昨年 11 月以降の市場環境は急速に悪化の度合いを強めてまいりました。

当社グループにおきましては、コンピュータ用モニターは、医療市場向けではフィルムレス化の進展により国内向けは計画どおり推移しているものの、それ以外の市場では、設備投資意欲の減退等により国内外とも需要が低下しております。特に海外向けの販売については、欧州市場の実体経済の悪化、欧州通貨の大幅な下落、及び在庫調整の影響もあり低調に推移しております。医療診断装置用モニターを主として製造・販売する EIZO GmbH では、急激な景気の減速から従来の計画を下回る見通しとなり、また、現在の市場環境を踏まえ将来の経営計画を見直した結果、のれんの減損を実施することとしました。加えて、本年 2 月末に完了した eg - electronic 社の事業買収の取得原価の内、のれん部分約 360 百万円を一括償却することとしました。

アミューズメント用モニターは、第 3 四半期末までほぼ計画どおりに推移していたものの、新機種の販売が翌

期初にずれ込むこととなりました。

以上の結果、連結及び個別の業績予想を上記のとおり修正いたします。

2. 特別損失の計上

医療診断装置用モニターを主として製造・販売するEIZO GmbHでは、急激な景気の減速から従来の計画を下回る見通しとなり、また、現在の市場環境を踏まえ将来の経営計画を見直すこととしました。この結果、特別損失として、連結でのれんの減損損失を約1,700百万円計上する見込みです。また、のれんの減損損失と為替の評価損等により、個別で出資金の評価損を約4,150百万円計上する見込みです。

3. 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想(平成20年5月9日)	40円 00銭	40円 00銭	80円 00銭
今回修正予想	-	30円 00銭	70円 00銭
当期実績	40円 00銭	-	-
前期実績(平成20年3月期)	40円 00銭	40円 00銭	80円 00銭

(2) 修正の理由

当社は、長期的、安定的な企業の成長を通じて、当社のステークホルダーとの高い信頼関係を構築することを目指しております。会社の利益配分につきましても、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としており、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案しながら、配当や自己株式等の株主還元を実施しております。しかしながら、業績予想の修正に伴い、配当予想につきましては誠に遺憾ながら前回予想の40円から30円に修正いたします。

4. 業績予想の修正に対する当社の対応

急速に悪化の度合いを増す経営環境を乗り切り、不透明な将来の変化に対応するため、以下のとおり実施いたします。

(1) 役員報酬減額

- ・平成21年6月の業績連動報酬(役員賞与)については支給しないこととします。
- ・上記の結果、取締役の年間報酬は、役位に応じて約40%から20%の幅で減額となる見込みです。

(2) 工場操業調整

生産工場につきましては、2月下旬より操業調整を実施しており、今後も状況を勘案しながら適宜調整してまいります。

(3) その他費用削減策

不要不急の費用の削減等を既に行っていますが、今後はより一層の経費削減を推し進めてまいります。

以 上

上記の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。